

2010年

梅まつりの俳句優秀作品

市村究一郎 選

特選

雪解光しづくも集めふむ梅

府中市 高柳玲子

評 すべての変化ある光を集め膨らみ開く前。

柔らかな土踏みながら梅見せり

府中市 岡美奈子

評 土から足が生えたようで最も自然な姿。

残照に色づきそめぬ白き梅

越谷市 大森勝朗

評 夕雲が西に沈むころ白梅は最も美しい時。

しだれ梅すかして見ゆる老の華

国分寺市 伊藤成子

評 老いの華やぎをすだれ越しに見るよう。

鳥たちの飛んで歩いて梅の園

府中市 渡辺行子

評 ツグミ・ヒヨドリ・ムクドリなど地面を歩き飛ぶ。

佳作

梅が香をまといて浮かぶ人のあり

府中市 塩澤登美子

梅東風の万葉歌碑をつみつたる

多摩市 河田公枝

雲映し河流れ行く梅日和

品川区 澤由紀江

蒼天へ紅梅色を展べにけり

府中市 志田礼子

梅が香は母の匂ひや影さがす

渋谷区 佐藤みちる

梅林をゆつくり歩み雲白し

日野市 松崎淳子

人に会い昔に会えて梅まつり

多摩市 高梨 忠

梅が香を揺らし目白の群れきたる

府中市 芝喜久子

風に乗り光に乗りて散る梅花

府中市 奥村和子

梅の花愛でる姿に薄日指す

八王子市 峯尾光一

(敬称略)

【市村究一郎】昭和二年東京生まれ。水原秋櫻子に師事。「馬酔木」編集同人を経て

「カリヨン」創刊主宰。俳人協会評議員。